

令和8年度 学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	自立と社会参加をめざして、キャリア教育の推進と学習内容の生活への一般化という視点を持ち、教育内容に一貫性や継続性を持たせながら、生徒が主体的に取り組める授業作りを行う。	生徒一人ひとりの教育的ニーズに向き合い、社会参加を見据えた将来像を捉える。生徒が、自分の良さや可能性に気づきながら学ぶことのできる授業づくりを継続するとともに、他者と協働しながら課題を解決する力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業の中で、年間授業計画や授業・題材例等を運用し、校内研究において評価をすることで、より実効性のある年間授業計画に整え、授業改善に活かす。 ICT 機器の活用や生徒一人ひとりの実態に応じた教材・教具の工夫について、部門内で共有を図り、生徒がわかりやすく主体的に取り組める授業を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間授業計画や授業・題材例等について、PDCA サイクルを活用し、授業改善に活かすことができたか。 ICT 機器の活用や、個に応じた教材・教具の工夫について部門内で共有し、授業づくりについて効果的に活用することができたか。
2	生徒指導・ 支援	生徒の実態や課題等を見立てる力（アセスメント力）や問題を解決する力を向上させ、チームとして組織的に生徒理解や生徒指導・支援にあたるようにする。	専門職や他機関と連携し、生徒の生活経験を含めた実態や課題を的確に捉えた個別教育計画を作成するとともに、授業や支援に反映させ、組織的・継続的な支援・指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 専門職と連携し、助言やケース会等を通して、生徒の実態や課題を的確に把握し、具体的な目標や支援内容を明確にした個別教育計画を作成する。 個別教育計画を定期的に確認・共有し、目標や支援内容を意識した授業および日常の支援を組織的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態把握を的確に行い、専門職と連携しながら、具体的な目標や支援内容を設定した個別教育計画を作成することができたか。 個別教育計画の内容を定期的に確認・共有し、日々の授業や支援に反映させることができたか。
3	進路指導・ 支援	生徒一人ひとりの自己実現をめざし、自ら進路選択や進路決定できるよう、丁寧で分かりやすい指導・支援を行う。	個別最適な進路選択につながるよう、進路の手引きやマニュアルを活用し、全職員が進路指導・支援について共通理解を図るとともに、組織的な見直しをもって計画的に取り組み、指導・支援の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に進路選択できる力を育むため、研修等を通して教職員の進路指導・支援に関する支援力向上を図る。 多様なケースを想定した事例や具体的対応を教職員間で共有し、日常の指導に活かす。 進路選択に関するツールを生徒および教職員が活用しながら改善を図り、生徒の就労準備性や生きる力の向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体研修や学年会・部門会において進路に関する情報共有を行い、教職員間の共通理解を深め、日常の指導・支援に活かすことができたか。 生徒に実態に応じた進路選択ツールの活用改善が、生徒の進路意識や就労準備性の向上につながったか。
4	地域等との 協働	インクルーシブ教育推進の視点を持ちながら、近隣の学校や地域住民および関係機関との連携協力体制を強化し、地域に開かれた学校作りを推進する。	持続性のある交流を推進し、地域とのつながりを活かした取り組みを検討する。特別支援教育や本校の教育活動に対する地域の理解を深め、互いに支え合える関係づくりを進め、効果的な情報発信力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 夏季公開講座について、前年度のアンケート結果を踏まえ、より多様なニーズに対応した内容を検討・実施する。 各種行事やボランティア活動等を通して地域との交流を継続し、本校の教育活動および特別支援教育への理解推進を図る。 ホームページ更新情報について、学年通信や連絡ツール等を活用し、効果的な発信方法を検討・実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季公開講座において、保護者や地域のニーズに応じたテーマを設定ができたか。 地域との交流を通して、本校生徒や特別支援学校の取り組みに対する理解促進を図ることができたか。 学校内外に向けた情報発信の方法について検討・実施し、その効果を高めることができたか。
5	学校管理 学校運営	防災や防犯活動に組織的に取り組み、生徒にとって安全・安心な学校作りのための危機管理体制作りや防災・防犯教育を推進する。	地域や関係機関との連携を強化し、命を守るために必要な防災・防犯訓練を計画的に実施するとともに、教職員の危機管理意識の向上を図る。 組織的かつ効率的な業務改善を進め、多様な働き方を尊重した学校運営体制の構築を全職員で推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の消防署等と連携し、災害発生時を想定した実効性のある防災訓練を実施する。 集団下校など災害時の対応について確認・訓練を行い、教職員および生徒の有事対応力の向上を図る。 業務量や繁忙期を考慮し、グループ業務の見直しや再編成を行うことで、業務の平準化および効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域関係機関と連携し、想定される災害に対応した効果的な防災訓練を実施することができたか。 様々な状況下を想定した防災訓練を実施することで、教職員および生徒の有事対応力の向上につながったか。 業務の平準化や効率化につながる、適切なグループ業務の見直し・再編成を行うことができたか。